

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	日本トレンドセレクト（リバース・トレンド・オープン）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	日興アセットマネジメント
販売委託元	日興アセットマネジメント
金融商品の目的・機能	有価証券を組入れつつ株価指数先物取引を積極的に活用し、株式市場全体の動きと概ね反対の収益の変動を目指した運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	短期間の取引による売買差益の獲得を目的とし、大きく元本割れするリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品について、他の商品と比較した特長やメリットはありますか。
  - ② これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。
  - ③ この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<価格変動リスク> 株価指数先物取引にかかる権利の価格は、株価指数の計算根拠となる対象企業の株価や、株価指数を構成する株式市場の値動きに影響を受けて変動する。また国内および海外の他の株価指数の値動きに連動して変動することもあります。
	<流動性リスク> 有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。
	<信用リスク> 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルトが生じた場合または予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
	<デリバティブリスク> 金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。
過去1年間の収益率	-21.3%（2023年7月末現在）
過去5年間の収益率	平均-10.6% 最高6.4%（2018年12月） 最低-39.4%（2021年3月） （2018年8月～2023年7月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の4ページから6ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の8ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ 年間収益率がマイナスの年度が大半であり、かなりリスクの高い商品と言えるのでしょうか。
- ⑤ 日経平均株価が下がると、ファンドの価格も上がると理解しておけばよいですか。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
		2.20%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年1.012%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の11ページに記載していません。

- (質問) ⑥ 信託報酬とはどのように支払われていますか。
- ⑦ 信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

当ファンドの償還日は2025年1月14日です。ただし、期間更新や繰上償還することがあります。

\* 2024年4月12日付で償還期間を5年更新し「2030年1月11日まで」に変更予定です。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.3%をご負担いただき、信託財産内に留保します。

証券取引所の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。

### 5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.44%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】  
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>  
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
(URL②) <http://www.nikkoam.com/fund/detail/152021>  
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。  
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

日本トレンドセレクト（リバース・トレンド・オープン）

	<質問>	<回答例>
①	この商品について、他の商品と比較した特長やメリットはありますか。	通常の商品とは異なり、マーケット下落局面で収益を得ることができるため、お客様の運用ポートフォリオの一部に組み入れることで、リスクヘッジ手段とすることができます。
②	これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。	購入のタイミングを数回に分けて、今回より価格が上下に10%程度離れたら2回目の購入を行うなども分散効果が期待できる有効な方法と思います。
③	この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。	たしかにベンチマークとなる日経平均株価指数が下落することによって収益が上がることなど、通常の商品とは異なります。いくつかのリスク商品を保有しているお客様が、マーケット下落にそなえてポートフォリオの一部に組み入れることが適切と考えます。
④	年間収益率がマイナスの年度が大半であり、かなりリスクの高い商品と言えるのでしょうか。	たしかに、株価の上昇局面が続くと、本商品の運用成果はマイナス傾向が続きます。お客様の運用資産構成の中で一定比率に留めて、他資産へのリスクヘッジ目的で保有されることが適切と考えます。
⑤	日経平均株価が下がると、ファンドの価格も上がると理解しておけばよいですか。	基本的な商品性としてはそのとおりですが、正確には、株価指数先物取引の売建額などによって変動幅がある程度異なることもあります。
⑥	信託報酬とはどのように支払われていますか。	毎日の基準価額は、この信託報酬の日割り分が控除されて算出されてきます。例えば年1%でも、5年間保有されると5%となる点、ご注意ください。
⑦	信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。	運用期間中は運用管理費用（信託報酬）が差し引かれます。実際には日との基準価額はこの信託報酬の日割り分を控除後で算出されているため、ある一時点でまとめて差し引くことはしません。
⑧	繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。	ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。